

としよ  
**図書だより** No.9

岡本小学校 2019年1月20日発行



新年、あけましておめでとうございます。去年はどんな年でしたか。そして、今年はどうな年になりたいですか。今年も、みなさんと本の出会いをサポートしていきますので、よろしくお祈りします。

あたら **ほん** しょうかい  
**新しい本の紹介**



『時代を切り開いた世界の10人 安藤百福』

高木まさき // 監修

インスタントめんのはつめいしゃ、食文化の革命児といわれる安藤百福、「世のために今までにないものを作る」という彼の精神とは。



『電気がいちばんわかる本』全5巻

米村でんじろう // 著

サイエンスショーでおなじみ、でんじろう先生が電気について、「明かり」「熱」「モーター」「発電」「電波」の5つ解説。



『きみの家にも牛がいる』

小森香折 // 作

牛は、食肉としてだけでなく、様々なものの素材として、わたしたちの生活をささえている。どのような工程で食肉になるのか、どんなものに加工されるかを記した絵本。



『いきものアート』シリーズ

内山りゅう // 著

「しぜんはアートにあふれている」。自然のなかで生きるために進化してきた生き物たち姿形、生きるための活動は美しい。生き物たちの写真集。



『しめかざり』 森須磨子 // 絵・文

日本全国にはさまざまな形のしめかざりがある。それぞれの形にこめられた人々の想いとは？お正月に飾られる“しめかざり”の絵本。



『十二支のはじまり』 岩崎 京子 // 文 二俣 英五郎 // 画

むかし、ある年の暮れ、神さまが動物たちにおふれを出した。「正月の朝、ごてんに来るように。来たものから順に12番まで、その年の大将にする」。ところが、ねずみはねこにうそを教える…。十二支にねこがいらないのはなぜ？



『ストーブのふゆやすみ』 村上しいこ // 文

身近にあるものが、突然“おやすみがほしい”と言い出す「わがままおやすみ」シリーズ。冬休みがほしいと言いだしたのはストーブ。さて、どんなことに。



～本で調べる？ネットで調べる？～

みなさんは、知りたいことを調べるとき、どちらを選びますか。本もネットも“情報の入れ物”（メディアといいます）です。それぞれにメディアとしてのちがいがあります。例えば、本の情報はその分野の専門の人が書いています。ネットの情報は専門家が書いたものも素人が書いたものもあります。ネットには新しい情報がすぐにのりますが、本はそうではありません。

これらのこと以外にも、本とネットの情報にはちがいがたくさんあります。それを理解して使う必要があります。

なんのことを言っているのかよくわからない、と思った人もいるかもしれません。みなさんが学習していくなかで、ちがいを理解して適切な情報が得られるようになっていければ良いと思います。